

分野	看護の統合と実践 －看護の統合と実践－	対象学年	2
		時期	後期
授業科目	看護の統合と実践演習 I Integration and practice Nursing Practice I	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	成人看護学、老年看護学、精神看護学で学習した内容を統合し、看護の展開を学ぶ。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成人にある事例をもとに看護診断が導き出せる。 2. 成人期にある人の特徴を考えて、成果を導くことができる。 3. 成人期にある人の特徴を考えて、介入を導くことができる。 4. 成人期にある人の看護を考えることができる。 5. 生活機能の枠組みに沿った情報整理ができる。 6. 生活機能の観点、統合的な視点からの考え方・アセスメントが理解できる。 7. 事例の強みを生かす、退院後の希望する生活につなげる援助計画立案ができる。 8. 生活のしにくさと自我機能を踏まえた情報整理とアセスメントが理解できる。 9. ストレングスや自己決定の力を踏まえセルフケアレベルを導くことができる。 10. セルフケア能力と優先度を考慮した援助計画の立案ができる。 		
評価方法	<p>課題内容および演習での態度を総合して評価する。</p> <p>成人看護学領域：34点、老年看護学領域 33点、精神看護学領域：33点</p>		
使用テキスト	<p><成人看護学></p> <p>看護過程にそった対症看護 学研</p> <p>NANDA-I 看護診断 定義と分類 北米看護診断協会</p> <p>NEW 実践！看護診断を導く情報収集アセスメント 第4版 学研</p> <p>系統看護学講座 専門Ⅱ 消化器 成人看護学【5】医学書院</p> <p><老年看護学></p> <p>看護過程にそった対症看護 学研</p> <p>NANDA-I 看護診断 定義と分類 北米看護診断協会</p> <p>NEW 実践！看護診断を導く情報収集アセスメント 第4版 学研</p> <p>ナーシンググラフィカ 高齢者の健康と障害 メディカ出版</p> <p>ナーシンググラフィカ 高齢者看護の実践 メディカ出版</p> <p><精神看護学></p> <p>系統看護学講座 専門Ⅱ 精神看護学【1】精神看護の基礎 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門Ⅱ 精神看護学【2】精神看護の展開 医学書院</p> <p>オレムのセルフケアモデル 事例を用いた看護過程の展開 第2版 ヌーベルヒロカワ</p>		
参考図書	やさしく学ぶ看護理論 中範囲理論入門		
メッセージ	<p><成人看護学></p> <p>看護過程は看護をする上で必要な思考過程です。成人期ある人の特徴を捉えて具体的な看護を考えていきましょう。</p> <p><老年看護学></p> <p>生活機能の観点から捉えることの意味を考えながら、実践に結びつけられるようにしっかりと取り組みましょう。老年看護の基本となる考え方ですので、より具体的な計画となるよう柔軟な発想で考えていきましょう。</p> <p><精神看護学></p> <p>本人が持つセルフケアの力を考えていくことが大切です。精神看護学の授業内容を活かし取り組みましょう。わからないことは積極的に質問しましょう。</p>		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	I. 成人看護学 1.対象理解とは	<成人看護学> 対象理解とはなにかを考える	<1~5 看護過程演習：成人看護学領域> 肝硬変の対象事例 1)看護過程とは 2)対象理解とは 3) 成人看護 4)肝硬変の対象の看護 5)対症看護 6)慢性期看護	講義 GW	看護過程演習
2	2.各領域のアセスメント	NANDA-I 領域をもとにアセスメントする	NANDA-I 領域に基づくアセスメント 各領域では何をアセスメントするのか	講義 GW	看護過程演習
3	3.看護上の問題・看護診断	各領域でのアセスメントを統合し、対象理解し、看護診断を導きだす	各領域の関連 統合アセスメント どのような人かを考える 看護問題を考え、看護診断を導く 看護診断の導き出し方	講義 GW	看護過程演習
4	4.看護目標・成果	看護目標を考え、患者成果を導く過程を理解する	看護目標を考え、成果を導く 成果指標の表現・期間 対象の現在の状態の理解	講義 GW	看護過程演習
5	5.看護計画立案	看護計画立案を理解する	看護計画立案 成人期の特徴を踏まえた個別性を考える	講義 GW	看護過程演習
6	II. 老年看護学 1.対象理解	<老年看護学> 生活機能の枠組みに沿った情報整理の仕方を理解する	<6~10 看護過程演習：老年看護学領域> 1)生活機能の枠組みに沿った情報整理の仕方 2)生活機能の観点、統合的な視点からの考え方・アセスメント 1 回目	講義	看護過程演習
7	2.各領域のアセスメント	生活機能の観点、統合的な視点からの考え方・アセスメントを理解する	3)生活機能の観点、統合的な視点からの考え方・アセスメント 2 回目	講義 GW	看護過程演習
8	3.看護上の問題（焦点）	関連図・統合アセスメントを理解する	4)関連図・統合アセスメント	講義 GW	看護過程演習
9	4.看護目標 看護計画立案	事例の強みを生かす、退院後の希望する生活につなげる看護目標、援助計画立案について理解する	5)事例の強みを生かす、退院後の希望する生活につなげる援助計画立案について	講義 GW	看護過程演習
10	5.生活を支える社会資源	対象の生活を支える制度と社会資源について理解する	6)対象の生活を支える制度と社会資源活用	講義 GW	看護過程演習
11	III. 精神看護学 1.オレム-アンダーウッドモデルの看護過程とは	<精神看護学> 精神看護における対象理解とオレム-アンダーウッドモデルの看護過程の活用を理解する	<11~15 看護過程演習：精神看護学領域> 1) オレム-アンダーウッドモデルの看護過程 精神における対象理解 基本的条件付けの確認 普遍的セルフケア要素の確認 情報整理	講義 GW	看護過程演習
12	2.普遍的セルフケア要素のアセスメント	生活のしにくさと自我機能を踏まえたセルフケアの状態の捉え方とアセスメントを理解する	2)生活のしにくさと自我機能を踏まえたセルフケアの状態の捉え方とアセスメント アセスメント 全体関連図	講義 GW	看護過程演習

13	3.セルフケアの状態とセルフケアレベル	ストレンクスや自己決定の力を踏まえたセルフケアレベルの判断を理解する	3)ストレンクスや自己決定の力を踏まえたセルフケアレベルの判断 アセスメントからセルフケアレベルを判断	講義 GW	看護 過程 演習
14	4.看護目標	個別性と優先度を考慮した看護目標の立案を理解する	4)個別性と優先度を考慮した看護目標の立案 看護目標と成果	講義 GW	看護 過程 演習
15	5.看護計画立案	個別性と優先度を考慮した援助計画の立案を理解する	5)個別性と優先度を考慮した援助計画の立案 看護計画立案 まとめ	講義 GW	看護 過程 演習